

2. 発熱 (38°C以上の熱が出た)

◆ 3か月未満の乳児の発熱

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください。

3か月未満の赤ちゃんの38°C以上の発熱は、必ず検査が必要です。この時期の赤ちゃんには、重症であっても熱以外に症状が目立たないことがあるからです。

◆ 3か月以上の乳幼児の発熱

1) 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください。

- 元気がない、活気がない、ぐったりしている
- 12時間以上、おしっこがでない
- よく眠れず、ぐずっている
- 呼吸がハーハーと苦しそう
- 水分を取るのを嫌がる

2) 上記症状がなければ

緊急度3

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ。



◆ 発熱時の対処方法



- 熱の出始めは温かめに、熱が出きったら涼しく
- 暑そうなら涼しく、寒そうなら温かく
- 水分補給をこまめにしましょう
- 食事は無理にすすめない
- 着替えもこまめにしましょう
- 気持ち良さそうなら、冷やしてあげましょう
- 熱があっても元気そうなら、解熱剤は使わない
- 解熱剤は3か月未満の赤ちゃんには使わない

一口メモ

発熱について

- 38°C以上の場合には熱があるとみなします。38°C未満の場合は必ずしも意味のある発熱ではありません。
- 発熱は身体の中に何かが起こったことを知らせてくれるサインであり、身体を守ろうとする有益な反応と考えられています。
- 熱そのもので脳が障害を受けることはありません。
- しかし、熱性けいれんの既往や熱でつらそうな時は解熱剤を使用してください。